



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成30年1月26日

上場会社名 株式会社アクセル 上場取引所 東
 コード番号 6730 URL http://www.axell.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松浦 一教
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 千代 進弘 TEL 03-5298-1670
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の業績（平成29年4月1日～平成29年12月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	4,613	△31.4	△446	—	△432	—	△145	—
29年3月期第3四半期	6,728	△12.8	359	△41.2	392	△33.6	243	△40.5

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	△12.96	—
29年3月期第3四半期	21.74	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	11,798	11,245	95.3	1,005.19
29年3月期	12,029	11,457	95.3	1,024.16

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 11,245百万円 29年3月期 11,457百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期（予想）	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年3月期の業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,500	6.1	90	△36.6	90	△44.7	30	△67.7	2.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

業績予想の修正につきましては、本日（平成30年1月26日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 5「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	11,187,749株	29年3月期	11,187,749株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	152株	29年3月期	152株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	11,187,597株	29年3月期3Q	11,187,620株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は平成30年1月29日(月)にT D n e tに開示いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第3四半期累計期間	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	5
(重要な後発事象)	5
3. その他	6
(1) 生産、受注及び販売の状況	6
(2) 最近における四半期毎の業績の推移	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境に改善がみられるとともに、個人消費も緩やかに持ち直しの動きがみられるなど、緩やかな回復基調が持続いたしました。しかしながら、世界経済の不確実性が一層増大していることに加え、金融資本市場の変動の影響が懸念されるなど、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当社の主力市場であるパチンコ・パチスロ機市場は、レジャーの多様化や近年の依存症対策を目的とした業界団体による自主規制の影響等により、遊技人口は減傾向を示すなど市場環境は厳しい状況が続いております。また、平成30年2月には改正「風適法施行規則等」の施行が控えており、先行きの不透明さから遊技ホールの新台購入意欲が低迷するなど、足元の市場環境は特に厳しい状況となっております。

かかる環境の中で当社は、引き続きパチンコ・パチスロ機市場に向けた各種製品の販売活動に注力するとともに、組み込み機器市場（注）に向けたグラフィックスLSI及び「H2MD」等のソフトウェアIP、ミドルウェア製品等の新分野に向けた事業活動にも注力いたしました。また、新事業への展開等による収益構造の転換を加速させる観点から、アライアンスや出資の検討等を積極的に実施いたしました。

パチンコ・パチスロ機市場に向けた各種LSI製品は、市場環境に加え、主要顧客によるリユース（再使用）比率の上昇の影響も受け、前年同四半期比2,132百万円減（同32.3%減）となる4,478百万円の売上高となりました。主力製品である同市場向けグラフィックスLSIは、前年同四半期比約36万個減の約38万個の販売となりました。一方、同市場に向けたその他製品（LEDドライバLSI、メモリモジュール製品等）は、主にメモリモジュール製品の販売増加で前年同四半期を上回る販売となりました。

組み込み機器市場向けグラフィックスLSIは、当社製品採用メーカー各社の需要動向により、前年同四半期比1百万円減（同2.2%減）となる81百万円、顧客の開発支援用ソフトウェアや評価基板、「H2MD」等のソフトウェアIP、ミドルウェア製品等のその他製品は、前年同四半期比19百万円増（同55.6%増）となる53百万円の売上高となりました。以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は前年同四半期比2,115百万円減（同31.4%減）となる4,613百万円となりました。

売上総利益は売上高の減収に伴い前年同四半期比1,125百万円減（同37.4%減）となる1,880百万円となりました。当社の主力製品であるパチンコ・パチスロ機向けグラフィックスLSI製品の粗利率は、量産効果等により改善いたしました。また、販売製品の構成比率の変動により、売上総利益率全体では前年同四半期比3.9ポイント低下となる40.8%となりました。

販売費及び一般管理費は、全般的な経費削減に加え、研究開発費が前年同四半期に比較し減少したことから、前年同四半期比320百万円減（同12.1%減）となる2,326百万円となりました。販売費及び一般管理費のうち研究開発費は、前年同四半期比249百万円減（同13.0%減）となる1,666百万円となっております。

以上により、営業損失は446百万円（前年同四半期は営業利益359百万円）、経常損失は432百万円（前年同四半期は経常利益392百万円）となりました。また、投資有価証券評価損138百万円を特別損失に計上したことから、四半期純損失は145百万円（前年同四半期は四半期純利益243百万円）となりました。

（注）「組み込み機器市場」とは、パチンコ・パチスロ機以外の組み込み機器の製造に係る市場として使用しております。組み込み機器とはコンピュータが内部に組み込まれており、そのコンピュータに特定のアプリケーションに特化した処理を行わせる電子装置を意味しております。医療機器や自動販売機、生活家電など多種多岐にわたる機器が組み込み機器に該当いたします。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末の資産合計は、前事業年度末との比較で231百万円減少となる11,798百万円（前事業年度末比1.9%減）となりました。主な要因は、売掛金の増加（577百万円）、前渡金の増加（589百万円）に対し、現金及び預金の減少（1,494百万円）、商品及び製品の減少（136百万円）等によるものであります。

当第3四半期会計期間末の負債合計は、前事業年度末との比較で18百万円減少となる552百万円（前事業年度末比3.3%減）となりました。

当第3四半期会計期間末の純資産合計は、前事業年度末との比較で212百万円減少となる11,245百万円（前事業年度末比1.9%減）となりました。主な要因は、利益剰余金の減少（201百万円）によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の通期業績予想につきましては、平成29年4月25日に開示いたしました「平成29年3月期 決算短信」に記載した数値を変更しております。詳細は、本日開示いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,738	7,243
売掛金	178	756
商品及び製品	1,443	1,307
原材料及び貯蔵品	0	0
前渡金	18	607
その他	128	544
流動資産合計	10,508	10,461
固定資産		
有形固定資産	342	270
無形固定資産	46	33
投資その他の資産	1,131	1,032
固定資産合計	1,520	1,336
資産合計	12,029	11,798
負債の部		
流動負債		
買掛金	284	385
その他	252	132
流動負債合計	536	517
固定負債		
資産除去債務	34	35
固定負債合計	34	35
負債合計	571	552
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,018	1,018
資本剰余金	861	861
利益剰余金	9,373	9,172
自己株式	△0	△0
株主資本合計	11,254	11,053
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	203	192
評価・換算差額等合計	203	192
純資産合計	11,457	11,245
負債純資産合計	12,029	11,798

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	6,728	4,613
売上原価	3,722	2,733
売上総利益	3,005	1,880
販売費及び一般管理費	2,646	2,326
営業利益又は営業損失(△)	359	△446
営業外収益		
受取利息	—	1
受取配当金	4	6
為替差益	30	5
その他	5	3
営業外収益合計	40	16
営業外費用		
投資事業組合運用損	6	2
その他	0	0
営業外費用合計	7	2
経常利益又は経常損失(△)	392	△432
特別利益		
投資有価証券売却益	—	64
特別利益合計	—	64
特別損失		
投資有価証券評価損	—	138
会員権評価損	—	1
特別損失合計	—	139
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	392	△506
法人税等	149	△361
四半期純利益又は四半期純損失(△)	243	△145

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用につきましては、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(重要な後発事象)

(投資有価証券の売却)

当社は、保有する投資有価証券の一部を売却することを決定し、平成30年1月24日に売却いたしました。これにより、平成30年3月期第4四半期において投資有価証券売却益（特別利益）を計上いたします。

①投資有価証券の売却理由

政策保有株式の見直しによる資産の効率化を図るため。

②投資有価証券の売却の内容

売却株式	上場有価証券 1 銘柄
売却日	平成30年 1 月24日
売却株式数	43,000株
売却額	117百万円
投資有価証券売却益	99百万円

3. その他

(1) 生産、受注及び販売の状況

①生産実績

当第3四半期累計期間の生産実績は次のとおりであります。

区分	当第3四半期累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)	
	百万円	前年同四半期比 %
パチンコ・パチスロ機向けLSI製品	4,388	△26.5
組み込み機器向けLSI製品	108	118.8
その他	64	46.5
合計	4,561	△24.7

(注) 1. 金額は販売価額によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

②受注実績

当第3四半期累計期間の受注実績は次のとおりであります。

区分	当第3四半期累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)			
	受注高	前年同四半期比	受注残高	前年同四半期比
	百万円	%	百万円	%
パチンコ・パチスロ機向けLSI製品	5,430	△16.8	2,070	15.8
組み込み機器向けLSI製品	88	△7.4	51	26.8
その他	63	69.6	11	252.3
合計	5,582	△16.2	2,132	16.4

(注) 1. 金額は販売価額によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③販売実績

当第3四半期累計期間の販売実績は次のとおりであります。

区分	当第3四半期累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)	
	百万円	前年同四半期比 %
パチンコ・パチスロ機向けLSI製品	4,478	△32.3
組み込み機器向けLSI製品	81	△2.2
その他	53	55.6
合計	4,613	△31.4

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
2. 最近2事業年度の主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前第3四半期累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)		当第3四半期累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)	
	百万円	%	百万円	%
緑屋電気株式会社	5,228	77.7	3,108	67.4
岡谷エレクトロニクス株式会社	659	9.8	746	16.2

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 最近における四半期毎の業績の推移

平成30年3月期

(単位:百万円)

	第1四半期 29年4月～29年6月	第2四半期 29年7月～29年9月	第3四半期 29年10月～29年12月	第4四半期 30年1月～30年3月
売上高	1,434	1,953	1,225	—
売上総利益	604	747	527	—
営業利益又は営業損失(△)	△316	20	△150	—
経常利益又は経常損失(△)	△311	22	△143	—
税引前四半期純利益又は 税引前四半期純損失(△)	△246	21	△281	—
四半期純利益又は 四半期純損失(△)	△136	12	△21	—
1株当たり四半期純利益又は 1株当たり四半期純損失(△)	△12.20円	1.14円	△1.90円	—
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	第4四半期末
総資産	11,608	11,715	11,798	—
純資産	11,172	11,221	11,245	—
1株当たり純資産	998.62円	1,002.98円	1,005.19円	—

平成29年3月期

(単位:百万円)

	第1四半期 28年4月～28年6月	第2四半期 28年7月～28年9月	第3四半期 28年10月～28年12月	第4四半期 29年1月～29年3月
売上高	1,696	2,314	2,718	1,284
売上総利益	814	1,013	1,177	540
営業利益又は営業損失(△)	△33	97	294	△217
経常利益又は経常損失(△)	△25	89	328	△229
税引前四半期純利益又は 税引前四半期純損失(△)	△25	89	328	△229
四半期純利益又は 四半期純損失(△)	△18	63	198	△150
1株当たり四半期純利益又は 1株当たり四半期純損失(△)	△1.64円	5.67円	17.72円	△13.44円
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	第4四半期末
総資産	11,975	12,173	12,492	12,029
純資産	11,193	11,296	11,502	11,457
1株当たり純資産	1,000.53円	1,009.74円	1,028.13円	1,024.16円